※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和４年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社）						
副教材等	つどい（啓隆社）自主制作プリント　合唱楽譜等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を通して学習します。
・学習の到達度は、学習の取り組み状況、実技における課題進度状況、学習プリント、創作曲、発表などを基に総合的に判断した上で決定します。また、成績が過去の音楽経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習等達度によって評価します。
・音楽の学習は様々な経験を通してこそ価値のある物であり、感性が豊かになります。
・音楽が将来にわたって、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
⑴　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性ついて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
⑵　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
⑶　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり、音楽を愛好する心情を育とともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分の声を磨く	【歌唱】 発声法 校歌 日本の歌曲 外国の歌曲	a:【知】発声の違いによる歌唱表現の特徴について理解している。 【技】発声、姿勢や呼吸など、身体を使う技能、言葉との調和を意識して歌う技法を身につけ、歌唱で表現している。 b:自分の声、楽曲のリズムや旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、楽しみながら主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ
	リズム表現を楽しむ	【器楽】　カホン カホンの基本的な奏法 リズムの読譜・記譜 【創作】 リズム例を元に、自分のリズムをつくる	a:【知】音の長さと音符の組み合わせによるリズムとカホンの基本的な奏法について理解している。 【技】リズム譜を読譜し、正確に演奏するための技術を身に付けている。 b:リズムを知覚し、その働きや効果を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもっている。 c:リズムの特徴、反復や強弱によるリズム表現の効果に関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏	演奏 作品	観察 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

1学期	音楽を聴く力を養う	【鑑賞】 「青少年のための管弦楽入門」	a:【知】管弦楽で扱われる楽器の種類や個々の音色、管弦楽の編成ついて理解している。 b:音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きや効果を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 楽器の音色、変奏とフーガで繰り返される旋律の特徴、楽器の組み合わせや編成上の効果による合奏の響きに関心をもち、主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察	振り返り レポート
2学期	ハーモニーを作る	【歌唱】 混声四部合唱曲	a:【知】自分のパートの旋律と他パートとのの関わりについて理解している。【技】他パートとの調和を意識し、歌唱で表現している。 b:自分のパートの旋律、他パートの旋律、またそれらの調和を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:自分のパートと他パートで創り上げるハーモニーに関心を持ち、主体的・能動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期	ギター入門	【器楽】ギター 「カノン」	A:【知】基本的な奏法と曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方の技法を身につけている。 b:ギター演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って演奏を創意工夫している。 c:ギターの音色と奏法に興味関心を持ち、主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	演奏	ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏	観察 振り返り レポート
	日本音楽に触れる	【器楽】箏または三線 基本的な奏法と唱歌 【鑑賞】 ・古典の楽曲 ・現代の曲	a:【知】箏・三線の構造や基本的な奏法、文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【技】箏・三線の音色を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、演奏で表している。 b:箏・三線の音色や音階を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 箏・三線の音色や音階によって生まれる音楽の良さや価値について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 c:日本音楽の文化や歴史的背景に興味関心を持ち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏	演奏 ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返り レポート 観察

※令和４年度以降入学生用

	第九にチャレンジ	【歌唱・鑑賞】 ベートーヴェン作曲 交響曲第９番ニ短調 Op.125 「合唱付き」　から第 4 楽章 『歓喜の歌』より	a:【知】第９の作品的価値と歌詞の意味、「歓喜の主題」の４部合唱部分のメロディーを理解している。【技】「歓喜の主題」を自分に適した音を選び、曲種に応じた発声、正しい発音をするための技能を身に付けている。 b:音楽を形作っている主題要素やパート同士の関連を知覚し、「歓喜の主題」の美しさを味わって聴き、またどのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:　自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏動画	演奏動画 振り返り レポート	観察 振り返り レポート
３学期	世界の音楽を知る	【鑑賞】 アジアの弦楽器	a:【知】楽器の構造や音の出る仕組み、奏法、それぞれの楽器の音色や楽器の特徴を理解している。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:アジアの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、表現の特徴について関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	クラス別発表会	【歌唱】 クラス別自由曲 【鑑賞】 相互の演奏発表	a:【知】曲想と音楽の構造やについて理解している。【技】他者との調和を意識して歌う技能を身につけ、歌唱で表現している。 b:自分のパートの旋律、他パートの旋律、またそれらの強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持ち、歌唱表現を創意工夫している。ハーモニーを知覚し、その働きを感じ、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:ハーモニーを創り上げることに関心を持ち、主体的・能動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏発表	ﾜｰｸｼｰﾄ 演奏発表	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度